

2022年5月20日

プレスリリース



この秋、デジタル技術と日本美術体験が融合した 特別企画「未来の博物館」を東京国立博物館で開催



文化財活用センター〈ぶんかつ〉、東京国立博物館の主催により、東京国立博物館創立 150 年記念 特別企画「未来の博物館」を開催します。〔会期:2022年10月18日(火)~12月11日(日)〕

本展は、〈時空をこえる8K〉(本館/特別 5 室)、〈四季をめぐる高精細複製屏風〉(本館/特別 3 室)、〈夢をかなえる8K〉(東洋館/エントランス)という3つのテーマで構成する、体験型の特別企画です。デジタル技術と日本美術のコラボレーションにより、これまで東京国立博物館の展示室では不可能だった体験が実現します。

この秋、「未来の博物館」の3つの会場をめぐり、日本美術の魅力を発見してください。

※本展は、東京国立博物館所蔵品を元に制作したデジタルコンテンツ、複製などで構成される展覧会です。

開催趣旨

ここはみんなの夢をかなえる「未来の博物館」。大画面に拡大された絵の中を歩いてみたり、屏風に描かれた四季を感じてみたり、光を照らして仏像をじっくりと調べたり。最先端のデジタル技術と高精細複製品を使って、新しい日本美術の鑑賞体験を実現します。できたらいいな、こんなこと。そう思う私たちの想像力が、展示室での不可能を可能にします。

展示構成

① 時空をこえる8K 会場:本館/特別 5 室

国宝「洛中洛外図屏風(舟木本)」に描かれた 400 年前の京の都の賑わいを、大画面に映し出された映像を通して、その場にいるように味わう。そんな、時空をこえて文化財と出会う鑑賞体験を、最新の8K 映像技術や 3DCG 技術を用いた「8K 文化財」でかなえます。

② 四季をめぐる高精細複製屏風 会場:本館/特別 3 室

東京国立博物館が誇る 4 つの国宝、「花下遊楽図屏風」「納涼図屏風」「観楓図屏風」「松林図屏風」は、日本の四季の美しさを私たちに伝えてくれます。屏風の中を歩き、描かれた四季の風景を感じる鑑賞体験を、高精細複製品へのプロジェクションマッピングでかなえます。

③ 夢をかなえる8K 会場:東洋館/エントランス

もしも、鎌倉時代を代表する仏像の細部の表現を、光を照らしてじっくりと調査できたら。名だたる茶人が手にした名碗「大井戸茶碗 有楽井戸」を手に取り、さまざまな角度から眺めることができれば。展示室では不可能な夢の鑑賞体験を、8K の高精細画像を用いたオリジナルのアプリケーションと操作デバイスでかなえます。

実施概要

名称 東京国立博物館創立 150 年記念 特別企画「未来の博物館」
会場 東京国立博物館（東京都台東区上野公園 13-9）
 第1会場〈時空をこえる8K〉本館／特別5室
 第2会場〈四季をめぐる高精細複製屏風〉本館／特別3室
 第3会場〈夢をかなえる8K〉東洋館／エントランス
会期 2022年10月18日(火)～12月11日(日)
観覧料 無料（総合文化展観覧料もしくは開催中の特別展観覧料[観覧当日に限る]が必要です）
主催 東京国立博物館、文化財活用センター、NHK(第1会場)
協賛 キヤノン株式会社、シャープ株式会社

＊総合文化展観覧料、一般 1,000 円、大学生 500 円、高校生以下および満 18 歳未満、満 70 歳以上の方は無料。
 ＊大学生の方は、学生証をご提示ください。
 ＊高校生以下および満 18 歳未満、満 70 歳以上の方は、総合文化展について無料です。入館の際に年齢のわかるもの（生徒手帳、健康保険証、運転免許証など）をご提示ください。
 ＊障がい者とその介護者各 1 名は無料です。入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。
 ＊東京国立博物館のガイドラインに従い感染防止対策を実施します。

本展でとりあげる国宝作品は、東京国立博物館創立 150 年記念 特別展「国宝 東京国立博物館のすべて」の会期中に展示予定！

特別展「国宝 東京国立博物館のすべて」平成館〔会期：2022年10月18日(火)～12月11日(日)〕

- ・国宝「洛中洛外図屏風(舟木本)」岩佐又兵衛筆／江戸時代・17世紀
- ・国宝「花下遊楽図屏風」狩野長信筆／江戸時代・17世紀
- ・国宝「納涼図屏風」久隅守景筆／江戸時代・17世紀
- ・国宝「観楓図屏風」狩野秀頼筆／室町～安土桃山時代・16世紀
- ・国宝「松林図屏風」長谷川等伯筆／安土桃山時代・16世紀

＊すべて東京国立博物館所蔵。展示予定は変更となる場合があります。各作品の展示期間など、最新情報はご来館前に、特別展「国宝 東京国立博物館のすべて」公式サイトなどでご確認ください。
 ＊特別企画「未来の博物館」でとりあげる日本美術作品は、他にもあります。
 ＊各作品の東京国立博物館内での展示期間、展示室などの詳細は、今後「未来の博物館」ウェブサイトで紹介する予定です。



東京国立博物館

明治5年(1872)創立、今年で150周年を迎える日本でもっとも長い歴史を持つ博物館。収蔵する文化財は約12万件。日本から中国、朝鮮半島、西アジア・エジプトまでの地域を網羅し、土器や土偶などの考古遺物から浮世絵や刀剣、甲冑、近代絵画など、日本の美術史をたどることのできるコレクションとなっている。

東京国立博物館
 創立150年記念特設サイト
<https://www.tnm.jp/150th/>

Twitter
 @TNM_PR 東京国立博物館(トーハク)広報室
https://twitter.com/tnm_pr

Instagram
 @TNM_PR 東京国立博物館(トーハク)広報室
https://www.instagram.com/tnm_pr/



文化財活用センター

2018年に設置された、文化財活用のためのナショナルセンター。「文化財を1000年先、2000年先の未来に伝えるために、すべての人びとが、考え、参加する社会をつくる」というビジョンを掲げ、「ひとりでも多くの人々が文化財に親しむ機会をつくる」ことをミッションとして、さまざまな活動をしている。

ぶんかつ公式サイト
<https://cpcp.nich.go.jp/>

Twitter @cpcp_nich ぶんかつ
https://twitter.com/cpcp_nich

Instagram @cpcp_nich ぶんかつ
https://www.instagram.com/cpcp_nich/

◇本件についての取材・お問い合わせ◇

国立文化財機構 文化財活用センター 企画担当

〒110-8712 東京都台東区上野公園 13-9 東京国立博物館東洋館 5階

E-mail: cpcp@nich.go.jp TEL: 03-5834-2856(直通) FAX: 03-5834-2857